

# 番傘川柳本社 5月句会

日時 令和5年5月6日(土)

会場 たかつガーデン

出席 ..... 65名

呼名復唱..... 稲葉 良岩

司会..... 森 茂俊

記名清記..... 西 美和子

ゴールデンウィークを一日残すの  
みの本社句会は、本社常任幹事であ  
られた(竹村穩夫)さんへの黙禱から  
始まりました。田中主幹のご挨拶で  
は、川柳のお陰で空白の時間が無い  
という事でした。そして今、番傘川  
柳本社創立115周年記念全国川柳  
大会の記念として「一万句集」を役  
員が編纂中です。その中に載せるイ

ラストやカット募集のお願いをなさ  
いました。  
イギリスでは、日本時間5月6日  
午後7時より、チャールズ国王カミ  
ラ王妃の戴冠式がロンドンのウエス  
トミンスター寺院にて行われました。  
日本からは、秋篠宮さまご夫妻がご  
参列なさいました。

## 席題多 分 八木 幸彦 選

絶対と腹で思っている多分 島田 握夢  
仕事より連休疲れしてるパパ 西 美和子  
多分恋こんなにドキドキするなんて 中岡千代美  
寝てばかり先祖はたぶん猫だった 銭谷まさひろ  
飲みすぎたようだあなたが二人いる 森 茂俊  
幸せで多分忘れる誕生日 穂山 常男  
うますぎる話だ多分詐欺だろう 川端 六点  
無欲の人に罨はおそらく通じない 掃部 博隆  
公園で食べるおにぎり旨さ倍 稲葉 良岩  
一陣の風はツバメの通り道 菱木 誠  
罨だとは思うが美女に付いて行く 高橋 裕樹  
あの人に来るから多分雨でしょう 荻野 浩子

あの人が多分当たったことがない 田中 螢柳  
毛虫時代たぶんあの日が絶頂期 桑原すゞ代  
駄目元でいいやるだけはやってみる 北川ヤギエ  
賞味切れパパに黙ってハイどうぞ 中村 光男  
どっさりと貯めはったのに逝かかった 柴本ばっは  
今日カレー多分明日もカレーだろ 穂山 常男  
雲を見て嵐を予感する漁師 川端 六点  
絶対は無いが無限はきつとある 木嶋 盛隆  
うわさ話多分多分の数珠つなぎ 中原 京子  
リューマチが騒ぐあしたは雨模様 正信寺尚邦  
笑ったこと多分明日も生きている 高橋 裕樹  
頬ずりをしたのは猫かばあちゃんか くんじろう  
多分あの二人は離婚するだろう 白井 笙子  
行けたら行くは多分欠席するだろう 西上 遊二

ゴミに出す直前の靴馴染んでる 奥野健一郎  
バラ撒かれた貝だと思ふ潮干狩り 美馬りゅうこ  
どちらかが死ぬまで愛します多分 油谷 克己  
多分もう会えないだろう友見舞う 小山 紀乃  
たっぷりのおっぱいでした母の恩 柴本ばっは  
踏ん張れば多分上昇線にのる 野口真桜子  
多分次自分の句だと思ひ込む 田中 利一  
ステージ4多分最期は家でみる 中井 佳子  
多分ならいっそ嘘だと言ってくれ 湯澤 孝扇  
明日逢う約束多分晴れるやろ 倉 周三  
ご多分に漏れず私もアナログ派 原田 正士  
積ん読になりそう大江むつかしい 岩田 明子  
もう会えぬだろうと春の雨になる 片岡 加代  
この毛虫多分毒蛾になるだろう 八木 幸彦

宿題 帰

る

桑原すゞ代 選

頼だけど他に行くところないのでね  
 島田 握夢  
 帰りたい帰りたい帰れない  
 松本 柎子  
 Yahoo検索結局帰る広辞苑  
 原田 正士  
 のさまに行ったかきまいつ帰る  
 正信寺尚邦  
 もう帰ろ花野に誰もいないから  
 倉 周三  
 昔は良かったむかしに帰りたい  
 田中美弥子  
 古里へ帰って来いと汽笛鳴る  
 木嶋 盛隆  
 都会には合わず帰ってきた息子  
 八木 幸彦  
 帰宅した靴を明日に向けて脱ぐ  
 穂山 常男  
 帰ってもひとりなんですすお月さま  
 片岡 加代  
 ぼろぼろになっても帰る部屋がある  
 岩田 明子  
 寄り道もいっぱい春を見て帰る  
 小山 紀乃  
 一喝が利いて思わずふと我に  
 北川ヤギエ  
 嬉しい事事に叫べば倍になる  
 山藤 聖子  
 大見得切った手前手ぶらじゃ帰れない  
 大塚のぶよし  
 満月へ帰りたいなるメロンパン  
 くんじろう  
 縁遠い人から消えてゆくお通夜  
 正信寺尚邦  
 影だけはいつも私を忘れない  
 松本 柎子  
 大事な人待っているから帰ります  
 田中美弥子  
 帰ってきたみたい寝たふりしてあげる  
 中岡千代美  
 わたくしを平らに戻す自分軸  
 阪本 秀子  
 軒下のツバメは去年の雛やろか  
 奥野健一郎

待つ人のいる彼を見送る朝が来た  
 中原 京子  
 帰巣本能千鳥足でもつく家路  
 八木 幸彦  
 帰って来い言わぬが里の父母も老い  
 小川賀世子  
 今日母の百花屋に寄って帰ります  
 藤島たかこ  
 待たすのは平気待たされたら帰る  
 川端 六点  
 息びったり帰りたいくないしょう  
 柴本ばっは  
 コンビニへ帰る母似のレジ係  
 くんじろう  
 一本の道完走し地に帰る  
 大塚のぶよし  
 帰らないでと言え別れになりそうで  
 中岡千代美  
 ただいまが虚しく反射する扉  
 田中 新一  
 帰ってこいオレも帰った五月病  
 吉富ひろし  
 たいまと言った気がしたつばくらめ  
 柴本ばっは  
 帰るところあって往復切符買う  
 北川ヤギエ  
 もう帰る実家も兄も無いのです  
 小寺八重子  
 帰省する度小さく可愛い母になる  
 辻部さと子  
 帰ろかなおふくろ一人置いとけぬ  
 油谷 克己  
 三年振りの帰省顔中口になる  
 荻野 浩子  
 タンポポの軽さになってUターン  
 桑原すゞ代

宿題 花言葉

前中 知栄 選

愛してる僕の命と贈る薔薇  
 油谷 克己  
 ひまわりの平和をつれたニュースくる  
 掃部 博隆  
 不可能な夢がかなった青いバラ  
 田中 新一  
 毒のある草にも情け花言葉  
 柴本ばっは  
 ファンシーな撫子浮かべ食前酒  
 野口真桜子  
 ひまわりの黄色で埋めるウクライナ  
 荻野 浩子  
 おっさんがキョトンとしてる花言葉  
 島田 握夢  
 財産はフラれた数の花言葉  
 高橋 裕樹  
 言い足りぬ事をゆだねる花言葉  
 田中美弥子  
 コスモスは調和ですってお父さん  
 吉富ひろし  
 花言葉添えタンポポのネックレス  
 川端 六点  
 花ことは知らぬ野のはな好きになる  
 小山 紀乃  
 文末に思わせぶりの花言葉  
 田中 螢柳  
 しじみ蝶知っているのか花言葉  
 稲葉 良岩  
 優曇華が咲いて花言葉を探す  
 正信寺尚邦  
 水連の清純君は忘れられたか  
 菱木 誠  
 察してと贈る黄色いチューリップ  
 前中 一晃  
 花言葉自分の事と知らぬ花  
 中原 京子  
 カーネーション母を知らずに母となる  
 桑原すゞ代  
 悪者にしないでほしいトリカブト  
 片岡 加代  
 花ことは好きなおんなで薄情で  
 美馬りゅうこ  
 日記帳背伸びしていた花言葉  
 中村 光男  
 カラスウリ男嫌いでなぜ悪い  
 西 美和子  
 媚びることしませんバラの恋心  
 掃部 博隆

花ことは諳じ少女ひとりぼち 小川賀世子

ラフレシアあなたを殺してしまいそう 中岡千代美

選んだら喧嘩している花言葉 田中 利一

薔薇満開今老春のご真ん中 倉 周三

花言葉は孤独野バラが愛おしい 松本 柎子

息子からのカーネーションは饒舌に 鮎子田嘉子

金婚の二人イチヨウの道続く 八木 幸彦

幸せになりたい黄色い花言葉 中岡千代美

花言葉ことば半分聞いておく 中村 光男

人おもう喋らぬ花の花言葉 白井 笙子

笑いましょ白いセッコク咲き誇る 桑原すゞ代

カモミール明日のために笑えたら 前中 知栄

宿題 勝ち気 中岡千代美 選

何糞の根性だけで生きている 木嶋 盛隆

勝気だが先立つものがありません 田中 螢柳

妹が兄を庇っているイジメ くんじろう

倍返ししないと気が済まぬ勝ち気 田中美弥子

どんと来い腰をすえる百合の花 藤島たかこ

ただ単につきがあつちに行っただけ 掃部 博隆

サウナ室負けん気の出る砂時計 穂山 常男

泣くもんか船場育ちをなめんなよ 油谷 克己

こっち向くはずきと向かせてみせる 片岡 加代

負けん気があらわ香水厚化粧 北川ヤギエ

少々の勝ち気ぐらいの君が好き 西 美和子

昼行灯のふりし唇噛む勝ち気 大堀 正明

勝気でも女泣きたい夜がある 油谷 克己

嫁姑の勝ち気ぶつかると台所 大堀 正明

火の色の負けん気内に秘めたまま 小山 紀乃

身を捨てて真つ向勝負する勝ち気 松本 柎子

泣いてへん涙拭っている拳 神田 良子

振られたんちゃうでふったんやと勝ち気 荻野 浩子

柔らかい言葉できつい倍返し 小川賀世子

化粧では負けてはいない參觀日 菱木 誠

ごめんとも言わず流している涙 川端 六点

咲く前にもう散り方を決めてはる 桑原すゞ代

負けん気で男嫌いと言うてはる 柴本ばつは

母ひとり守るポツンと一軒家 鮎子田嘉子

たつぷりの魅力を秘めている勝ち気 田中 新一

言つてやろじやないのなためらいかんぜよ 瀬川 幸子

火花散るマスク美人の目と目と目 稲葉 良若

内部告発します覚悟はできてます 鮎子田嘉子

形成は不利でも負けは認めない 荻野 浩子

女には惜しい勝ち気が邪魔をする 辻部さと子

4に近い3と譲らぬ勝気な子 白井 笙子

マスク取り勝ち気な眉を描き上げる 森中恵美子

これしきで泣いたりしない長女です 片岡 加代

欲しければあんな男はくれてやる 正信寺尚邦

ありったけの辞書を調べて譲らない 岩田 明子

杖なんか要らんと義母は突つ返す 西 美和子

熨斗つけて返すとバトルすさまじい 阪本 秀子

もういらんいちごミルクも恋人も 桑原すゞ代

親友の彼はわたしが振つた人 岩田 明子

孫とても真剣勝負してしまう 中岡千代美

宿題 怠忽 油谷 克己 選

サイレンは天下御免の救急車 美馬りゅうこ

突然のマイクに歌詞が出てこない 吉富ひろし

急かなくてきょうと明日の繰り返し 白井 笙子

無死満塁風雲急を告げている 松本 柎子

急勾配気遣い合つて下る坂 田中美弥子

急きもせずよくよもせず諦めぬ 川端 六点

急場凌ぎでシャベットになるピール 中岡千代美

何度でも緊急事態ある地球 菱木 誠

急な来宅こんな迷惑ありゃしない 中原 京子

急がないで下さい地獄混んでます 瀬川 幸子

午前二時日帰りでした救急車 掃部 博隆

急がねば半額シール間に合わぬ 木嶋 盛隆

悲しみはいつも突然やって来る 小川賀世子

天国へ特急券は要りません くんじろう

妻の凶星がボクの急所に突き刺さる 大塚のぶよし

序破急の第三段を生きている 山藤 聖子

緩急をつけた朗読聞き惚れる  
急用ができたイケメン今日も消え

辻部さと子

宿題 しぶとい

片岡 加代 選

寂しさはグチる相手を選ばない  
怯まずに打たれ強さを漲らす  
ハングリーの足がしぶとく勝ち残る  
逆転を待っていましたタイガース  
しぶとさに負けてしまったプロポーズ  
何があるろうと気にせず自分流通す  
ああ言えばこう言う妻のエンドレス  
何くそとしぶとく生きる底辺で  
年金の目減り気にせず節約で  
膝ついて這いずり回りほら四つ葉  
未来あるなんてなんでが食い下がる  
神棚に昭和の頃のマッチ箱  
厚切りの肉がしぶといバーベキュー  
いざとなればしぶとい奴になれる僕  
付いてくる野良にととうと負けた  
ボール投げポチの相手は疲れ切る  
三次会まで付いてくるウーロン茶  
ええもちろん付き合いますとはし酒  
ライザップ卒寿まだまだ元気です  
雑草の名前しぶとく追うている  
泊まりましたが別々の部屋でした  
百歳の母がロマンスしています  
なんとって昭和生まれのサバイバル

美馬りゅうこ  
田中 新一  
大堀 正明  
森中恵美子  
中原 京子  
小山 紀乃  
穂山 常男  
柴本ばっは  
下林 正夫  
高橋 裕樹  
辻 肇  
掃部 博隆  
くんじろう  
野口真桜子  
岩田 明子  
谷口 東風  
正信寺尚邦  
美馬りゅうこ  
小川賀世子  
銭谷まさひろ  
島田 握夢  
くんじろう  
片岡 加代

先走り過ぎてやらかすお節介  
真実に迫ると急に知らぬふり  
救急車呼んだつもりが霊柩車  
ナチュラルに放つ言葉の急角度  
飛び乗った列車に夢も乗っていた  
白爾から急に足腰萎えてきた  
急がねばまだ欲がある好奇心  
老いる身へ急に五体が不満足  
急速に距離縮めてく酒の席  
急かしても急かさなくとも月は出る  
よっぽどの事かじいちゃん走ってる  
急いで急かん大阪弁はどっちゃねん  
一言へりビング急に荒れ模様  
速達に代えよと郵便の遅刻  
急用の時にはいない駐在所  
急な坂越えてほっこり虹と会う  
急に何言い出すこんな人混みで  
急にプロポーズ五月の空の下  
へそくりに急場しのぎをしてみらう  
秒針の悲鳴を運ぶ救急車  
走り雨別れはいつも急ぎ足  
何が気に触れたか急に臍曲げる

島田 握夢  
奥野健一郎  
掃部 博隆  
木嶋 盛隆  
稲葉 良岩  
松本 柊子  
荻野 浩子  
白井 笙子  
辻部さと子  
中井 佳子  
銭谷まさひろ  
森 茂俊  
田中 螢柳  
神田 良子  
吉富ひろし  
下林 正夫  
片岡 加代  
森中恵美子  
田中 新一  
菱木 誠  
桑原すゞ代  
油谷 克己

不意にくるしぶとい地震不安増す  
そこんと何とかしてと拜まれる  
大阪のおばちゃんお買い物上手  
しぶといが金に弱いと聞いている  
消えたかと思つた戦火また飛び火  
トランプの執念とめどない野望  
血も涙もガン細胞にはおまへんで  
粘り腰徳儀から白星に  
ゴキブリはホイホイだけで無くならぬ  
ゴキブリ絶えぬ3億年の知恵を持つ  
詰みそつでも参りましたと言わぬ敵  
二時間の長考の上歩を突いた  
度を越したしぶとさあはれいやがらせ  
強弱をつけ泣き声がまだ続く  
正直がただしいなんて限らない  
平行線交わるまでは席立たぬ  
反論がマトリョーシカのように出る  
姑がまたも余命を乗り越える  
お義母さん私しぶとうになりました  
しぶとさは買うが怒らせたらあかん  
反省はするけど撤回はしない  
磨けどもああ磨けどもガスコンロ

本田 智彦  
奥野健一郎  
楠本 晃朗  
中村 光男  
高橋 裕樹  
八木 幸彦  
成山きよし  
田中 利一  
西上 遊二  
原田 正士  
西上 遊二  
奥野健一郎  
三好 聖水  
神田 良子  
前中 知栄  
木嶋 盛隆  
北川ヤギエ  
成山きよし  
鮎子田嘉子  
三好 聖水  
瀬川 幸子  
岩田 明子

美馬りゅうこ  
田中 新一  
大堀 正明  
森中恵美子  
中原 京子  
小山 紀乃  
穂山 常男  
柴本ばっは  
下林 正夫  
高橋 裕樹  
辻 肇  
掃部 博隆  
くんじろう  
野口真桜子  
岩田 明子  
谷口 東風  
正信寺尚邦  
美馬りゅうこ  
小川賀世子  
銭谷まさひろ  
島田 握夢  
くんじろう  
片岡 加代